

2025年4月11日  
双日株式会社

## 双日、「DX 銘柄 2025」に選定

双日株式会社(以下「双日」)は、経済産業省が東京証券取引所、独立行政法人情報処理推進機構と共同で選定する「DX 銘柄 2025」に選ばれました。「DX 銘柄」は、東京証券取引所に上場している企業の中から、企業価値の向上につながる DX を推進するための仕組みを社内に構築し、優れたデジタル活用の実績が表れている企業を選定するもので、2023 年度に続き 2 回目の選定です。双日は、なでしこ銘柄 2025、健康経営銘柄 2025 にも選ばれており、同一年度で 3 銘柄に選定されるのは初めてとなります。



双日は、マーケットニーズや社会課題に応える価値(事業・人材)創造を通じ、企業価値を向上するために DX の取組みは必要不可欠と位置付け、中期経営計画 2023 の初年度となる 2021 年度からデジタル変革の取組みを開始しました。DX 推進体制の整備、社員のマインド変革、デジタル人材の育成や先行事例の創出などを進めています。2024 年度に始まった中期経営計画 2026 においては、「双日らしい成長ストーリーの実現」のため、経営戦略として、「Digital in All」を掲げ、デジタル活用の徹底による企業価値の向上に取り組んでおり、AI などのテクノロジーを活用した事業創出や業務の生産性向上などを加速させています。

今後も、多様な事業基盤にデジタルの力を掛け合わせることで、既存ビジネスの価値向上や新たなデジタルビジネスの価値創出などの実現を目指し、企業価値向上に努めていきます。

(ご参考)

【AI 活用による新たな事業創出や、業務の生産性向上の取り組み】

マグロ養殖事業	デジタルツインや AI 画像解析による、いけす内の尾数推定や給餌の最適化、養殖業に甚大な被害をもたらす赤潮の挙動を予測するアプリ開発などに取り組んでいます。
スマート農業事業	土壌の衛星画像を AI で解析し、気候や災害、穀物収穫量を予測。営農支援サービスや農業資材、農機、ファイナンスなどを提供・販売するアグリ(農業)プラットフォーム事業も推進中。
社内向け生成 AI 「Sojitz AI Chat」の導入	社外秘情報の入力も可能な社内向けの生成 AI ツール「Sojitz AI Chat」を導入。多用途で活用することで、生産性向上を推進。

【New way, New value by Sojitz Person】

常に新しい取り組みにチャレンジし、新たな価値を社会に実現していく双日の“人”を紹介するコンテンツ。

デジタル推進本部デジタル事業開発部 部長の記事を発信しています。

[目的があるから、DX がある。](#)

【事業紹介動画】

双日の事業を分かりやすく紹介する動画コンテンツ。双日が長崎県松浦市鷹島町で取り組んでいるクロマグロ養殖に関する「デジタルツインによる尾数カウント」「データ活用による操業の高度化」「赤潮予測アプリの開発」の DX3 事例を紹介しています。

[DX の取り組み～クロマグロ養殖でのデータ活用による操業の高度化](#)

【動画広告】

2018 年からシリーズで制作している当社が「発想」の力で新たな価値を創造し、それをビジネスとして「実現」する会社であるというメッセージを込めた Hassojitz(ハッソウジツ) 広告。「独自の農業 DX」を活用した新しいプラットフォームを構築するという「発想」で、長年、肥料事業で支えてきたタイの農業をアップデートする様子を紹介しています。

[Hassojitz\(ハッソウジツ\)タイ 農業プラットフォーム事業篇](#)

## 【DX 銘柄について】

[「DX 銘柄 2025」「DX 注目企業 2025」「DX プラチナ企業 2025-2027」を選定しました](#)（経済産業省ウェブサイト）

[「デジタルトランスフォーメーション銘柄 2025」の公表について](#)（東京証券取引所ウェブサイト）

## 【関連ニュース】

2025 年 3 月 24 日 [双日、「なでしこ銘柄」に 8 回目の選定](#)

2025 年 3 月 10 日 [双日、「健康経営銘柄」に 2 年連続 3 回目の選定「健康経営優良法人 ホワイト 500」にも 3 年連続 6 回目の認定](#)

2024 年 5 月 28 日 [双日、「DX 注目企業 2024」に選定](#)

2023 年 5 月 31 日 [双日、「デジタルトランスフォーメーション \(DX\) 銘柄 2023」に初選定](#)